

船舶事故等調査報告書

平成24年1月26日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2011門第139号	
事故等種類	運航阻害	
発生日時	平成23年9月6日（火） 15時41分ごろ	
発生場所	福岡県宗像市大島南東方沖 宗像市所在の筑前大島港避難港北防波堤灯台から真方位151° 1,160m付近 (概位 北緯33° 53.2′ 東経130° 26.5′)	
事故等調査の経過	平成23年10月5日、本インシデントの調査を担当する主管調査官（門司事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報		
船種船名、総トン数	旅客船 しおかぜ、87トン	
船舶番号、船舶所有者等	140980、宗像市	
乗組員等に関する情報	機関長、五級海技士（機関）（機関限定）	
死傷者等	なし	
損傷	右舷減速機潤滑油こし器取付金具が折損	
事故等の経過	<p>本船は、船長、機関長ほか2人が乗船し、宗像市神湊港から同市大島漁港に向けて航行中、平成23年9月6日15時41分ごろ、右舷減速機潤滑油圧力低下警報が作動した際、船長が、操舵室の機関室監視用モニター画面を見たところ、オレンジ色の右舷減速機潤滑油こし器（以下「こし器」という。）が転がって行くのが見えたので、すぐに右舷主機を停止した。</p> <p>本船は、機関長が、機関室を点検したところ、こし器の取付金具が根元で折損していることを認めたので右舷主機を使用せず、左舷主機のみで続航して大島漁港に約6分遅れで入港した。</p> <p>本船は、本インシデント後、こし器を交換した。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 晴れ、風向 北東、風力 3、視界 良好</p> <p>海象：波高 約0.5m</p>	
その他の事項	こし器は、本体が鋼製の横置き円筒形をしており、その片側端に雌ねじ部の取付口があり、減速機本体に取り付けられている鋼製取付金具の雄ねじ部にこし器の雌ねじ部をねじ込んで取り付け、他端は、固定されていなかった。	
分析	<p>乗組員等の関与</p> <p>船体・機関等の関与</p> <p>気象・海象の関与</p> <p>判明した事項の解析</p>	<p>なし</p> <p>あり</p> <p>なし</p> <p>本船は、大島南東方沖を航行中、こし器の取付金具がねじ部根元で折損したことから、右舷主機が運転できなくなったものと考えられる。</p> <p>こし器は、取付金具による片支持状態であり、船体及び機関の振動を繰り返して受けていたことから、材料が疲労し、取付金具のねじ部根元で折損したものと考えられる。</p>

原因	本インシデントは、本船が、大島南東方沖を航行中、こし器の取付金具がねじ部根元で折損したため、右舷主機が運転できなくなったことにより発生したものと考えられる。
参考	本船は、平成24年2月予定の第一種中間検査の入渠時において、こし器に振動止めを新設することとした。